

各位

鹿児島県病院薬剤師会 医薬品情報・プレアボイド委員会
委員長 南 裕 司

第 204 回鹿児島県病院薬剤師会研修会 第 1 回鹿児島 RMP 研究会のご案内

日病薬病院薬学認定薬剤師制度に基づいた研修会：1.5 単位（申請中）
日本薬剤師研修センター生涯研修認定：2 単位（申請中）
鹿児島県病院薬剤師会生涯研修認定：1.5 単位

謹啓

時下、先生方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、この度、新しい企画として”インタビューフォームから医薬品リスク管理計画（RMP）を理解し活用しよう！”をテーマに標記の研究会を開催する運びとなりました。今回は、オピオイド誘発性便秘症治療薬「スインプロイク錠 0.2mg」を取り上げます。

ご多忙中のことと存じますが、万障お繰り合わせの上、ご臨席賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白

【日 時】 2017 年 11 月 12 日（日） 15:00～18:00

【場 所】 T K P ガーデンシティー鹿児島中央 2 階 桜島プレミアム
鹿児島県鹿児島市中央町 26-1 TEL099-214-2525

【会 費】 無料

【情報提供】（15:00～15:15）

「オピオイド誘発性便秘症治療薬 スインプロイク錠 0.2mg について」

塩野義製薬株式会社 製品戦略部 エリアサポートリエゾン 匂梅 一仁 先生

【テーマ】『RMP を通して市販後における薬剤師の役割を考える』

【特別講演】（15:15～16:00）

座長 鹿児島県病院薬剤師会会長 武田 泰生 先生

「医薬品リスク管理計画（RMP）とは ～ナルデメジントシル酸塩錠を一例として～」

塩野義製薬株式会社 安全管理部 能登原 正一 先生

【総合討論】（16:00～18:00）

司会：医薬品情報・プレアボイド委員委員長 南 裕司 先生

『 本日はとことんナルデメジントシル酸塩錠 0.2mg 』

討論 I （16:00-17:20）

「ナルデメジントシル酸塩錠 0.2mg をとことん理解しよう！」

- ・インタビューフォームの記載順に沿ってナルデメジントシル酸塩錠 0.2mg を理解する。
- ・ナルデメジントシル酸塩錠 0.2mg の医薬品リスク管理計画（RMP）を理解する。

討論 II：（17:20-17:50）

「実効性のある医薬品リスク管理計画（RMP）とするには？」

薬剤師の役割は？ 製薬企業の役割は？ 適正使用のための具体的な取組は？

討議席	薬剤師医薬品情報・プレアボイド委員会委員、がん薬物療法・緩和ケア委員会委員、緩和薬物療法認定薬剤師の先生方、他 塩野義製薬株式会社より 疼痛緩和推進室：伊藤徹治 先生、安全管理部：能登原正一 先生、鹿児島県内の MR の方々
聴講席	鹿児島県病院薬剤師会および鹿児島県薬剤師会の会員の先生方 *** 聴講席からも積極的に討議へ参加してください! ***

共催 鹿児島県病院薬剤師会 塩野義製薬株式会社

※なお、当日は、お茶をご提供させていただきます。ご所属施設の内規に準じてのご対応をお願い申し上げます。

鹿児島RMP研究会について

”インタビューフォームから医薬品リスク管理計画（RMP）を理解し活用しよう！”

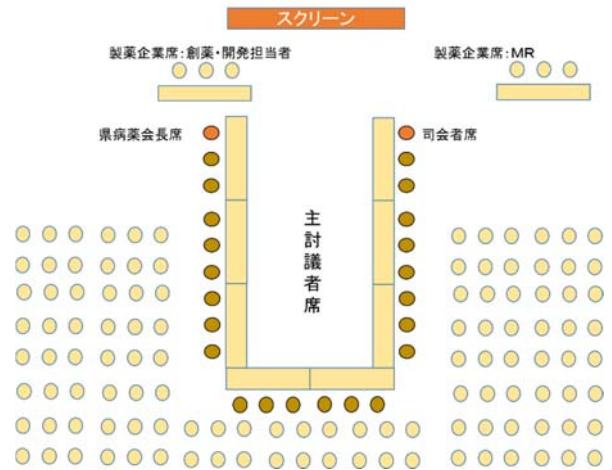
【目的】

ひとつの薬剤について、薬剤師と製薬企業の創薬や開発に関わった担当者とインタビューフォーム（IF）を用いてじっくり討論することにより、RMPが策定された背景を理解し、市販後における薬剤師とMRの役割を明確にすることにあります。討議により得られた情報は、県下の薬剤師とMRが共有することで、薬剤師は当該医薬品による有害事象の早期発見が可能になり、MRは医師への情報提供の質が向上します。少しでも、患者の安全の確保に寄与すること、潜在リスクなどのPMDAへの報告の増加につながることを目的です。同時にインタビューフォームの活用方法を薬剤師とMRが理解することも大きな利点です。本企画は、各医療機関や保険薬局で新薬を採用する際の参考にさせていただければ幸いです。

【方法】

1. 薬剤師と製薬企業とのディスカッション方式で進行します。

- ディスカッションに参加する製薬企業席と薬剤師席を準備し、他の会員の先生方のための席は、その左右と後方に準備します。（下図参照：会場の都合で変更される場合もあります。）
- 薬剤師側からは、県病薬「医薬品情報・プレアボイド委員会」およびその時のテーマとして取り上げる薬剤に関連する委員会の委員、関連する専門や認定を取得している先生方、DI担当の先生方を想定しています。その他、参加希望者を募る方法も検討すべきと考えています。
- 製薬企業側からは、対象となる医薬品の創薬や開発に関わった担当者の方々および鹿児島県のMRの方々に出席していただきます。



2. 討論Ⅰ：IFの目次に沿って司会者が質問して進行します。その後、RMPの記載を確認します。

3. 討論Ⅱ：薬剤師の役割と企業の役割についてディスカッションを行います。

当該医薬品が当該医薬品のハイリスク患者となり得る患者へ投与されることを想定した時

- ・ 薬剤師の役割 : DI担当者の仕事は？ 患者指導担当者の仕事は？
- ・ 製薬企業の役割 : 医師への情報提供は？ 投与された場合の情報の収集手段は？

会員の先生方へ

企業の、創薬や開発、安全管理にかかわるの方々に直接質問できる機会は少ないかと思えます。是非、このような機会を有効にご活用ください。

事前に「添付文書」・「インタビューフォーム」・「RMP」・「患者説明用リーフレット」に、できましたら「審査結果報告書」にも目を通してから参加されると得るものは多いと思えます。患者説明用リーフレット以外は、PMDAのホームページより入手できます。

FAX 099-265-5293

鹿児島大学病院薬剤部内
鹿児島県病院薬剤師会 事務局 御中

FAX 原稿

FAX 前に指差し確認ください。

- 参加施設名 ヨーシ!
- 参加者氏名確認 ヨーシ!
- FAX する面 ヨーシ!
- FAX 番号確認 ヨーシ!

第 204 回鹿児島県病院薬剤師会研修会
第 1 回鹿児島 RMP 研究会

(鹿児島県病院薬剤師会生涯研修認定 1.5 単位)
(日本薬剤師研修センター研修講座 2 単位) (申請中)
(日病薬病院薬学認定薬剤師確制度に基づいた研修会 1.5 単位) (申請中)

日 時 : 平成 29 年 11 月 12 日 (日) 15:00~18:00

場 所 : TKP ガーデンシティー鹿児島中央 2 階 桜島プレミアム
鹿児島県鹿児島市中央町 26-1 TEL099-214-2525

【情報提供】(15:00-15:15)

「オピオイド誘発性便秘症治療薬 スインプロイク錠 0.2mg について」

塩野義製薬株式会社 製品戦略部 エリアサポートリエゾン 匂梅 一仁 先生

【テーマ】『 RMP を通して市販後における薬剤師の役割を考える 』

【特別講演】(15:15~16:00)

座長 鹿児島県病院薬剤師会会長 武田 泰生 先生

「医薬品リスク管理計画 (RMP) とは ~ナルデメジントシル酸塩錠を一例として~」

塩野義製薬株式会社 安全管理部 能登原 正一 先生

【総合討論】(16:00~18:00)

司会 : 医薬品情報・プレアボイド委員委員長 南 裕司 先生

『 本日はとことんナルデメジントシル酸塩錠 0.2mg 』

討論 I (16:00-17:20) : 「ナルデメジントシル酸塩錠 0.2mg をとことん理解しよう！」

- ・インタビューフォームの記載順に沿ってナルデメジントシル酸塩錠 0.2mg を理解する。
- ・ナルデメジントシル酸塩錠 0.2mg の医薬品リスク管理計画 (RMP) を理解する。

討論 II : (17:20-17:50) : 「実効性のある医薬品リスク管理計画 (RMP) とするには？」

薬剤師の役割は? 製薬企業の役割は? 適正使用のための具体的な取組は?

共催 鹿児島県病院薬剤師会 塩野義製薬株式会社

■■■ 締切り : 平成 29 年 11 月 2 日 (木) ■■■

施設名

出席予定者名

連絡

※スインプロイク錠0.2mgを対象薬としたRMP研究会にて検討したい事項やご質問があればご記入ください。